

Q&A

腹部 CT 検査にて偶然発見された膵腫瘍

【問題】

症例：66 歳，男性。

現病歴：健診にて指摘された泌尿器疾患の精査目的に撮影された腹部造影 CT 検査にて膵腫瘍が発見された。

血液検査所見：WBC 5300/ μ l, RBC 473×10^4 / μ l, Hb 14.3g/dl, Plt 16.9×10^4 / μ l, AST 28U/l, ALT 31U/l, AMS 36U/l, Lipase 34U/l, CRP 0.09mg/dl, CEA 2.2ng/ml, CA19-9 0.8U/ml, エラスターゼ 1 1521ng/dl, DUPAN-2 120U/ml, イ

ンスリン 5.3 μ IU/ml, グルカゴン 110pg/ml, AFP 94.6ng/ml (下線は異常値)。

腹部造影 CT (Figure 1), 腹部 FDG-PET CT (Figure 2) を以下に示す。

考えられる膵腫瘍性病変の鑑別診断は？

解答は (578p) に掲載



Figure 1. 腹部造影 CT：膵体部に腫瘍性病変を認めた。

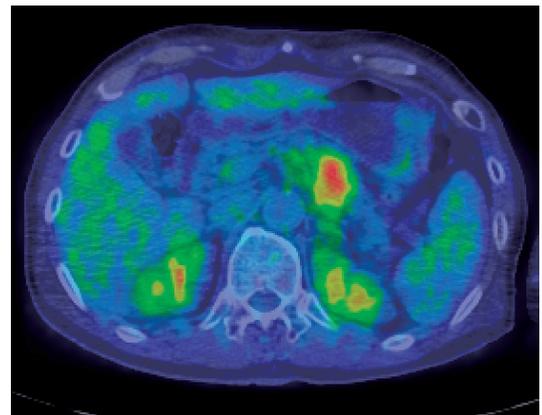


Figure 2. 腹部 FDG-PET CT：病変部位に一致して SUV MAX=5.4 の高集積を認めた。